

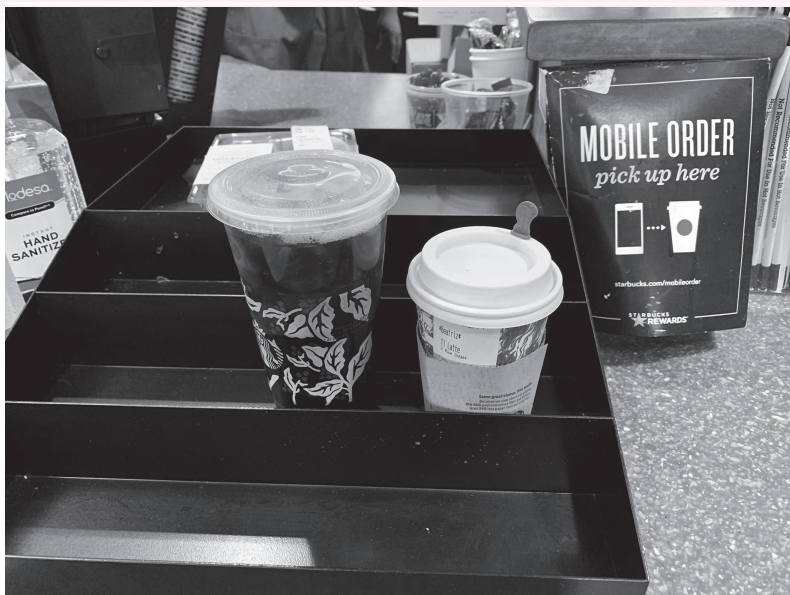
異

説

通

説

ワシントンの朝のコーヒー事情



アプリで注文したコーヒーやパンなどの食べ物が置かれているスペース（筆者撮影）

全米で最も人気のモバイル決済アプリが何かご存じであろうか。

アメリカのモバイル決済といえば、Apple Pay（アップルペイ）や、Google Pay（グーグルペイ）を思い浮かべる方も多いと思われる。実

は、米コーヒーチェーン大手のスターバックスが発行するアプリが、全米で最も人気のモバイル決済アプリだ。

米国の首都ワシントン中心部にはアップロックごとに、スターバックスがあり、日本のコンビニエンスストアのように非常に多くのスターバックス店舗が営業している。

ワシントンの朝の出勤時間においては、多くのワシントンニアングが出勤前にコーヒーを買おうと、スターバックスに立ち寄る風景が見られる。

アメリカのスターバックスは、日本に

比べると店員のサービスレベルが高くないことから、お客さんが実際に入店してからコーヒーを手にするまでに、とても時間がかかるのが実情である。

この問題を解決しているのが、先ほど触れた、スターバックスアプリなのだ。

スターバックスアプリでは、事前にチャージしておいた金額（クレジットカードにひもづけられており、モバイルSuicaのようにオートチャージ設定可能）の範囲内で、アプリ上でコーヒーやパンなどの食べ物を選択し、受け取り店舗を指定の上、注文することができる。

コーヒーについてはどの程度シロップを追加するか、トッピングはどうするかなど、自分好みに非常に細かく注文することが可能となっている。そして、自分が発注した商品が、店頭での受け取り可能になると、スマートフォン上へ通知されるシステムだ。

これを活用することで、冒頭

のワシントンの朝においてワシントンニアンはスターバックスのコーヒーを購入するために多くの時間を割く必要はなくなる。出勤前に、アプリ上で注文を行い、受け取り可能通知がスマートフォンに届いた段階で、指定した店舗に行き、コーヒーをピックアップするだけでよかった。

アメリカに住んでいると、日本が人々の勤勉さでカバーしているところを、アメリカはテクノロジーを大いに活用して、日々の利便性の向上を図っていると感ずる場面があり、スターバックスアプリもその一つの事例だ。

日本人が大変人気のハワイのワイキキでも、このアプリを利用することは可能なので、バカンスで訪れた際に、手軽にスターバックスコーヒーを購入してみたいかがだろう。

（国際協力銀行

ワシントン駐在員事務所

駐在員 小林 祐馬